

予定地住民向け 政府5年放置

原発関連機器の輸出を巡り、立地予定地域の住民に安全性などに関する情報が十分に公開されているかどうか確かめる「指針」について、当時の麻生太郎政権が2008年に策定を約束しながら、約5年たった今も作成されていないことが毎日新聞の取材で分かった。原発輸出に絡んで、従来行われてきた相手国の規制体制などを調べる国の「安全確認」と呼ばれる手続きが実施不能になっていることが既に判明している。チェック体制のずさんさが一層鮮明になった。

政府が指針に言及したのは、適切に公開されていない場合は、貸し付けなどを行うことのないよう今後指針を作成する」としていた。しかし指針作りの進捗は遅く、国際環境問題に取り組む「FoE Japan」など非政府組織(NGO)7団体などが10年12月、J BICの監督官庁である財務省との定期協議の席上で取り上げた。財務省国際局職員が「J BICから指針の内容、策定スケジュールについて鋭意検討中」と



原簿ドーム前を流れる元安川に灯籠を流す子どもたち
広島市中区C6日午後7時33分、大西昌彦撮影

聞いている」とだけ答えたため「省としてどう考えているのか」と追及。「近藤議員の主意書に対する答え

明らかにしている。J BICと財務省は取材に対し、指針が未策定であることを認め「安全確認に関する経産省の対応を踏まえて指針を作成する」と回

父よ母よ 安らかに

原簿の日の6日夜、広島市中区の原簿ドーム前を流れる元安川で灯籠流しがあり、約7500個の明かりが水面を照らした。遺族らは一足つとつと浮かべ、原簿の犠牲者の冥福と平和を祈った。(4面に平和宣言全文、社会面に関連記事)

東日本大震災で転校した岩手・宮城・福島各県の人数
(カッコ内は昨年5月1日時点) ※全国合計は23693(25516)

	県内で転校	県外に転校	<合計>
岩手県	893 (787)	343 (360)	1236 (1147)
宮城県	2620 (2726)	1474 (1587)	4094 (4313)
福島県	5864 (6031)	10986 (12316)	16850 (18347)
<合計>	9377 (9544)	12803 (14263)	22180 (23807)

文部科学省は6日、東日本大震災で転校した子供の今年5月1日時点の状況を発表した。2万3693人(前年同期比18.2%)が転校した状況で、うち岩手・宮城・福島

の3県から各県外に転出した人数は1万2803人(同14.6%減)。福島県は前年同期より1330人減の1万986人だった。同省は被災地に一定の流れを感じながらも、まだ多数が避難中被災の影響は継続している」としている。(25面に関連記事)

震災で転校なお2.4万人

1800人減 福島から県外1.1万人

おかげさまで 40周年
あまの 天
おかげさまでキャンペーン実施中!
天塩 キャンペーン

慰安所従業員が日記

慰安婦部隊上映の映画見学 「兵站の命令で再び慰安婦に」

「ソウル澤田克己、大員智子」第二次世界大戦中にヒルマ(現ミャンマー)とシンガポールの慰安所で働き、その様子を撮った朝鮮人男性の日記が、韓国で見つかった。男性は、1942年に釜山港を出発した「第4次慰安団」に参加し、44年末に朝鮮へ戻った。慰安所従業員の日記の発見は、日韓で初めて。旧日本軍による従軍慰安婦問題は、数十年たつてからの証言が多いが、現場にいた第三者による記録は、冷静な議論をする上で貴重な資料と言える。(6面に関連記事)

ヒルマなど 朝鮮人男性つづる

朝鮮近代経済史が専門で、慰安婦問題にも詳しい安乗直ソウル大名誉教授が見つけた。約10年前にソ

ウル近郊の博物館が古書店で日記などの資料を入手。これを安乗直教授が最近精査し分かった。堀和生京大教授と木村幹神戸大教授が、日本語訳の作成を進めている。

日記は、朝鮮半島南東部で慰安婦募集に携わった可能性のある42年を含む8年分は、見つからなかった。男性は、43年7月10日に「昨年の今日、釜山埠頭で乗船し、南方行きの第一歩

に死去。22年から57年までの日記が残る。ただ、朝鮮第4次慰安団の出発した時、第4次慰安団の団長として来た津村氏が(市場で働いていた)と書いた。

「昨年の今日、釜山埠頭で乗船し、南方行きの第一歩に死去。22年から57年までの日記が残る。ただ、朝鮮第4次慰安団の出発した時、第4次慰安団の団長として来た津村氏が(市場で働いていた)と書いた。

「昨年の今日、釜山埠頭で乗船し、南方行きの第一歩に死去。22年から57年までの日記が残る。ただ、朝鮮第4次慰安団の出発した時、第4次慰安団の団長として来た津村氏が(市場で働いていた)と書いた。

「昨年の今日、釜山埠頭で乗船し、南方行きの第一歩に死去。22年から57年までの日記が残る。ただ、朝鮮第4次慰安団の出発した時、第4次慰安団の団長として来た津村氏が(市場で働いていた)と書いた。

「昨年の今日、釜山埠頭で乗船し、南方行きの第一歩に死去。22年から57年までの日記が残る。ただ、朝鮮第4次慰安団の出発した時、第4次慰安団の団長として来た津村氏が(市場で働いていた)と書いた。

「昨年の今日、釜山埠頭で乗船し、南方行きの第一歩に死去。22年から57年までの日記が残る。ただ、朝鮮第4次慰安団の出発した時、第4次慰安団の団長として来た津村氏が(市場で働いていた)と書いた。

「昨年の今日、釜山埠頭で乗船し、南方行きの第一歩に死去。22年から57年までの日記が残る。ただ、朝鮮第4次慰安団の出発した時、第4次慰安団の団長として来た津村氏が(市場で働いていた)と書いた。

「昨年の今日、釜山埠頭で乗船し、南方行きの第一歩に死去。22年から57年までの日記が残る。ただ、朝鮮第4次慰安団の出発した時、第4次慰安団の団長として来た津村氏が(市場で働いていた)と書いた。

がんばる会社の会計ソフト JDL IBEX
無料版もてたよ!

JDL IBEX 出納帳 380円/月
JDL IBEX 出納帳 Et 無料版
JDL IBEX 給与 2,120円/月

また、日記には「航空隊所属の慰安所2カ所が兵站管理に委譲された(43年7月19日)」、「夫婦生活をするために(慰安所)を出た(44年10月27日)」と、兵站の命令で再び慰安婦として金泉館に戻るようになったという(同28日)など、慰安所や慰安婦と軍の関係が記されている。一方、鉄道部隊で映画(上映)があるという、慰安婦たちが見物に行ってきた(43年8月13日)、「慰安婦に頼まれた送金600円を本人の貯金から引き出して、中央郵便局から送った(44年10月27日)」など、日常生活の一端がうかがえる内容もあった。

余録
それを体に装着すれば脚力がモーターなどによって強化装置はロボットスーツと呼ばれる。一般的にはパワードスーツと集も用いられるが、それは1950年SF小説に出てくる宇宙戦争用の戦闘服というR・ハインライン著「宇宙源」という「スターシップ・トゥルーパー」は映画の「スターシップ・トゥルーパー」は邦訳で強化防護服になっている。兵士はより強い脚力、より強力な力、より多い耐久力、より少ない防御力、より少ないSF映画やアニメでもドラスティックにも兵器に使われたの性である。しかし今日の日本で、アイデアが人を助ける技術として世界に実用化されつつあると聞けば、誇らしい。筑波大のベンチャー企業「バイオインテリジェント」が開発したロボットスーツ「L」が欧州の医療機器認証を取得した。装着するHALは脳の微弱な命令信号して歩行を助ける装置だ。すでにドイ脊髄損傷などの患者の治療に使う計画。中という治療用ロボットは医療機器世界初のこと。今後は欧州連合全売できることになる。ちなみに日本国福祉用HALが国際安全規格の認証を介護施設などで利用されている。医療中という「鉄腕アトム」の作者、手さぐが晩年、医療や介護ロボットの未ばっく話していたのを思い出す。人のに寄り添い、支えることで世界をリ「日本型ロボット」である。

